

中東混乱下でも輸送量4%増

■IATA統計・4月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2026年4月の貨物輸送量（貨物トンキロ=CTK）は前年同月比4.0%増となった（表①参照）。国際貨物も同4.0%増だった。一方、供給量（有効貨物トンキロ=ACTK）は0.4%減。国際貨物に限ると同0.9%減となった。国際貨物の貨物ロードファクター（LF）は同2.5ポイント増の52.4%だった。中東情勢悪化に伴う湾岸地域の主要ハブでの混乱が続く、供給を制約したものの、アジア太平洋発の荷動きが堅調に推移し、全体の需要を押し上げた。

主要市場では、アジア太平洋の航空会社が最も高い伸びを示し、CTKは10.5%増、ACTKは5.3%増だった。北米はCTKが5.0%増、ACTKが1.2%増。欧州はCTKが6.0%増、ACTKが3.0%増となった。一方、中東の航空会社は引き続き大幅な前年割れで、CTKは18.2%減、ACTKは22.9%減となった。

主要レーン別の貨物輸送量成長率（CTKベース）を見ると、欧州→アジア（市場シェア21.5%）が16.2%増となり、38カ月連続の増加となった。アジア→北米（同23.4%）は8.3%増で6カ月連続増、アジア域内（同7.3%）は13.0%増で30カ月連続増となった。アフリカ→アジア（同1.3%）も12.8%増で10カ月連続の増加だった。

これに対し、中東関連レーンは大きく落ち込んだ。中東→アジア（同7.4%）は22.4%減、欧州→中東（同5.2%）は25.9%減で、ともに2カ月連続のマイナスとなった。欧州→北米（同13.5%）も1.0%減で2カ月連続の減少だった。

IATAのウィリー・ウォルシュ事務総長は、「4月の航空貨物需要は前年同月比4%増となり、アジア関連の力強

表① IATAの世界航空会社貨物輸送実績

市場シェア* (単位:%)	2026年4月実績(前年同月比)				2026年1~4月実績(前年同期比)				
	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)	
総合(国際+国内)	100.0	4.0	▲0.4	1.9	46.0	3.6	1.5	0.9	46.2
アフリカ	2.1	7.7	▲9.4	7.8	49.1	12.3	1.6	4.4	46.2
アジア太平洋	35.8	10.5	5.3	2.2	47.0	9.5	6.3	1.4	46.6
欧州	21.4	6.0	3.0	1.5	53.4	5.4	4.6	0.5	56.5
南米	2.9	▲2.8	1.2	▲1.6	37.4	▲1.5	3.3	▲1.7	35.4
中東	13.2	▲18.2	▲22.9	2.7	46.0	▲13.9	▲13.9	0.0	43.8
北米	24.6	5.0	1.2	1.5	40.9	2.6	0.6	0.8	41.5
国際貨物	87.9	4.0	▲0.9	2.5	52.4	3.8	1.6	1.1	51.7
アフリカ	2.1	7.8	▲9.0	7.9	50.7	12.4	1.7	4.6	47.9
アジア太平洋	32.1	11.3	7.6	1.9	55.2	9.9	7.1	1.4	53.4
欧州	21.0	6.4	3.3	1.6	55.4	5.7	4.6	0.6	58.7
南米	2.5	▲2.4	0.8	▲1.4	42.4	▲0.3	3.0	▲1.3	40.3
中東	13.2	▲18.2	▲23.1	2.8	46.5	▲13.9	▲14.1	0.1	44.2
北米	17.1	4.5	▲0.6	2.4	49.7	3.2	1.9	▲0.6	49.1

*市場シェアは2025年のCTKベース
CTK=貨物トンキロ
ACTK=有効貨物トンキロ
貨物LF=貨物ロードファクター

注)地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績レポートおよび一部レポートの無いところは推測に基づき、なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

い荷動きにけん引された。ただし、この明るい材料の裏側には、より複雑な運航環境がある」と指摘した。中東での戦争に伴い湾岸地域の主要ハブで深刻な混乱が続く、主要ルートの供給制約やルート再編につながっていると、「貨物機が成長の多くを担っている」と分析。また、今後数カ月は、地政学的な不確実性と高い運航コストを業界がどこま

表② 主要レーンの2026年4月貨物輸送量成長率
(CTKベース、市場規模順)

路線	需要伸び率(CTK)	備考	市場シェア
アジア→北米	8.3%	6カ月連続増	23.4%
欧州→アジア	16.2%	38カ月連続増	21.5%
欧州→北米	▲1.0%	2カ月連続減	13.5%
中東→アジア	▲22.4%	2カ月連続減	7.4%
アジア域内	13.0%	30カ月連続増	7.3%
欧州→中東	▲25.9%	2カ月連続減	5.2%
欧州域内	14.0%	3カ月連続増	1.9%
アフリカ→アジア	12.8%	10カ月連続増	1.3%

※市場シェアは2025年通年のCTKベース

で吸収できるかが試されるという見方を示した。

詳細は表①、表②の通り。